

会議顛末報告書

- 会議名 富良野市住居表示審議会（令和5年度第1回）
 - 日時 令和5年12月22日（金） 10時00分～10時45分
 - 場所 富良野市複合庁舎 1階会議室D
 - 出席者 委員：平泉敏行、西村和隆、安念勝彦、藤田恵士、細川一美、野原武、
関澤博行、北川善人
市：北市長、山下市民生活部長、須藤市民課長、戸籍住民係高橋
-

開会 10:00

○辞令交付

○審議

1. 審議会開会

（事務局 山下部長）

2. 市長あいさつ

（北市長）

住居表示は、住民生活にとって非常に関係の深い、防災、防犯、郵便といった面で重要なものであり、実施するには地域住民の意向、現状も大事になってくる。

難しい判断も必要になるかと思うが、住民にとって非常に重要な案件となるので、慎重な判断をお願いしたい。

3. 会長・副会長の互選について

（事務局 山下部長）

会長・副会長互選までの間、山下部長が仮議長とすることを承認

委員からの互選がないため、事務局案を提案（会長 細川委員、副会長 藤田委員）

全体で承認

4. 細川会長あいさつ

（細川会長）

住居表示審議会は法に基づき住居表示を円滑に行うことを目的に設けられている。

これまで、昭和50年に富良野市街地に住居表示が実施され、平成16年には北斗町、平成21年には東雲町、平成23年には山部市街地の住居表示が実施された。

北の峰地域に隣接している学田三区工業団地の地域は住居表示がされていないことから、地域住民からの要望もあり、継続的な協議が行われてきた。この審議会においても地域の意見を踏まえながら意見交換を行ってきたが、住居表示については、地域の住民意識の高揚や表示変更による手続き、また費用が伴うことから、地域住民と十分な共通認識が

必要と考えている。

住居表示の必要性は十分に認識しているが、学田三区については今のところ必要ないという声が上がっている。

5. 連絡・報告事項（進行 細川会長）

（須藤課長）

1)、2)、3)の3項目について、資料1から4に基づき一括説明

○質疑

（安念委員）

審議会の開催状況を見ると学田三区における住居表示アンケートが過去に実施されているが、どのような経緯があったのか。

（須藤課長）

地域住民から住居表示の要望がありアンケートを行った。結果は、「住居表示の必要なし」が多かったが、推進意見も少数あったことから、平成26年度の審議会で継続議題として地域の動向を見守ることとした。令和3年に再度、地域住民から住居表示の要望があり、地域住民の意向を調査するため、北の峰第5町内会長が中心となり、聞き取り調査を実施した。意向調査の結果、「住居表示を希望しない」との回答が9割を超えたことから、この結果を令和4年度の審議会で報告し、地域要望なしとして継続審議を終了した。

（安念委員）

了解した。

（細川会長）

学田三区の住居表示については、宅配等での不便を感じた住民がいることからアンケートが実施されたが、学田三区には企業、会社が多いため宅配等に関して不便に感じるという意見が少ない。不都合があれば住所に地番を表示して宅配してもらうのも方法としては可能。

消防、警察に確認事項となるのだが、通報があった際に同一地番であっても対応は可能か。

（平泉委員、西村委員）

対応可能。

6. その他

（須藤課長）

次回の審議会開催については、審議しなければならない事案が発生した場合に、会長、副会長、事務局で協議し開催の案内をすることとする。

閉会 10時45分